JAAF CHIBA

千葉陸協だより

発行；千葉陸上競技協会総務委員会広報部　　2012 年 12 月 10 日発行

A287-2 号

千葉県 PR マスコットキャラクター　チーバくん
千葉県許諾第 A287-7 号

平成24年度前半戦を振り返って

副会長　藤原　生通

千葉陸上競技協会関係者の皆様にはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。今夏も連日の真夏日、猛暑日でありましたが、いかが乗り切りましたでしょうか。日本の夏の気象そのものが全体的に亜熱帯性に変化していると考えるのがよいように思います。

本年はオリンピックイヤーでロンドンに注目が集まりました。日本選手団も頑張りメダル獲得数を更新し、団体競技や女性陣の活躍は見事でした。

一方、陸上競技陣は振るわず残念でなりませんでした。水泳と陸上が両輪となって日本スポーツ界をけん引しているのだという自負が揺るぎそうです。

さて、本協会は大岩会長・高木理事長体制１期目の後半に入っています。役員・理事のご理解と堅固な協力により各委員会がよく機能し順調に協会運営が進捗しており喜ばしく思っています。

事業面に目を向けてみましょう。何といっても競技力の向上と競技運営の充実が柱です。

まず、競技力については、本年度も中体連、高体連、学生、実業団それぞれ選手諸君の大会での成績を知る限り相当の力を推し量ることができます。本協会としては千葉県代表チームとして戦う国体は競技力の指標になると考えています。昨年の山口国体で史上初の総合５連覇の偉業に挑みましたが破天荒ならず無念の思いをしました。今年の岐阜国体で何としても奪還を期待していましたが残念な結果に終わりました。強化委員会を中心に総括し検証する必要があります。

また、秋以降には男女それぞれの都道府県対抗駅伝の活躍を大いに期待しています。特に女子は久しく優勝から遠ざかっておりそろそろ復活の優勝を期待しています。男子にもさらにステップアップして上位入賞を期待します。

競技運営については、競技規則の理解、用器具類の扱い、電子機器類操作等の熟知や選手の目線にも配慮するなど、遺漏のないスムーズな運営が審判員に求められます。おかげさまで審判員の皆さんの前向きな姿勢により各主催競技会が円滑に運営されたことに感謝しています。

今年度は、トラック＆フィールドのビック競技会として８月に全日本中学校陸上競技選手権大会を主管しました。県中体連陸上専門部関係者の頑張りがあり炎天下の競技会を成功させたことは本協会、中体連陸上専門部にとってご同慶の至りです。

秋には、自動車専用道路をコースとした画期的なイベント「ちばアクアラインマラソン」に審判員を派遣しています。そして、日本陸連主催の伝統ある２つの国際大会「国際千葉駅伝」「千葉国際クロスカントリー」を主管いたします。毎年開催している大会ですが、新鮮な気持ちで整然とした態度で競技運営に臨んでいきましょう。

委員会報告

総務委員会　市東　和代

今年度より、陸協登録手続きにＷＥＢ会員登録システムを導入しました。また、陸協主催大会への申し込みをパソコンによる方法に変更しましたが、システムの不調等によりスムーズに行かない面があり、大変ご迷惑をかけしました。システムについて、皆さまのご意見を頂きながら順次改善しておりますので、今後ともご理解ご協力よろしくお願いいたします。

競技運営委員会　立澤　勇

日頃より円滑な競技運営に御協力をいただき感謝申し上げます。今後の予定をお知らせ致しますので、皆様の御協力をお願いいたします。

Ｂ級公認審判員資格取得講習会を 2013 年 2 月 24 日（日）千葉県総合スポーツセンー宿泊研修所大ホールで開催致します。

千葉陸上競技協会審判講習会を 2013 年 3 月 31 日（日）千葉県総合スポーツセンター体育館で行います。特に平成 25 年度上級審判員に申請する方は、受講するようお願い致します。

施設用器具委員会　森井　優

競技場・道路競技における検定について説明します。

公認大会を実施するために、競技場並びに道路については 5 年に 1 回検定を行うことが定められています。競技場については、各走路において距離及び高さを測定器で計測し、基準に従って設計されているか、確認作業を行います。地盤等の歪みなどから必ずしも同じ距離が出ないこともあり、検定が必要とされています。

道路競技については、先日アクアラインマラソン大会でも実施していましたが，自転車で距離計測を行うのが主流となってきました。道路規制の後、競技開始 10 分前から 2 ～ 3 台でコースを走り、規定の距離と一致しているか計測します。

今年度は、11 月 23 日に行われる国際千葉駅伝のコースも計測対象になっております。黄色のベストを着用したロードタイプの自転車が沿道を走るかと思いますが、レースとは別の角度から大会を見ていただけるとありがたいです。

「地元全中」に優勝して

市原市立ちはら台南中学校　海老原　亘

今年 8 月に本県で開催された全日本中学校陸上競技選手権大会の女子 4 × 100 mリレーでちはら台南中が見事優勝しました。顧問の海老原先生にお話を伺いました。

昨春の本校着任時の選手たちの印象は、「まだまだ未熟な集団」でした。しかし、走っている姿を見た瞬間、「もしかすると…」という思いが浮かびました。春先の記録会では 100 mが 13 秒 5 ～ 14 秒 5 の選手が、みるみる私の指導を吸収し、今回の「全国制覇」を成し遂げるまでに成長してくれました。

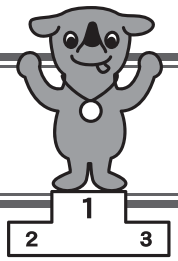
今年度は地元「千葉全中」ということで，県中学校強化担当者としても並々ならぬ思いがありました。当日は高温とホームストレートの強烈な向かい風の中、成田西中時代の同種目 2 度の全国制覇の経験と、地元の多くの声援を追い風に、「全国制覇」を達成することができました。

私はハンマー投げの選手でしたが、多くの先生方からのご指導や才能溢れる選手達からも様々なことを教えてもらい、今日に至っています。今後、自分が関わった選手達が「大好きな陸上競技」を通して心身ともに成長してくれることを祈っています。

◇平成 24 年度競技会日程

月	日	曜	競　技　会　名	場　　所
11 月	23	金・祝	2012 国際千葉駅伝	県総合スポーツセンター
12 月	1	土	男女都道府県対抗駅伝選考会	県総合スポーツセンター
			全国小学生クロカンリレー予選会	県総合スポーツセンター園路
2月	10	日	千葉国際クロカン・県クロカン	昭和の森

国際大会入賞者・国内大会優勝者



日本選手権（H24.6.8-10 長居）

男子　200m　高瀬　慧　20.42　① 富士通
女子　5000m　新谷仁美　15.17.92　① ユニバーサルエンターテイメント
　　三段跳　吉田文代　12.98　① 成田空港

全国小学生陸上競技交流大会（H24.8.23-25 横浜）

男子　4×100mR 船橋陸上ｸﾗﾌﾞ　49.10　①
（岩崎隼也，福田岬，安永雄貴，川島丈遥）

全国高校総体（H.24.7.29-8.2 新潟）

男子　400m　板鼻航平　47.55　① 敬愛学園
　　走幅跳　毛呂泰紘　7.53　① 柏日体

日本学生選手権（H24.9.9-10 国立）

男子　走高跳　戸邉直人　2.22　① 筑波大
女子　走幅跳　清水珠夏　6.41　① 中大

全日本中学校選手権（H24.8.20-22 千葉）

女子　4×100mR ちはら台南中　48.40　①
（富濱みよこ，濱井美南，川奈部真由，松本理夏子）

岐阜国体（H24.10.5-9 岐阜）

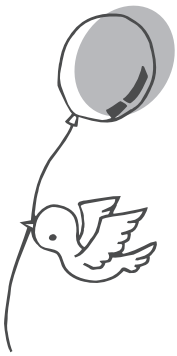
成年女子　5000m　新谷仁美　15.17.79　① ユニバーサルエンターテイメント

お知らせ

栄章贈与者の紹介

今年度５名の方が栄章を贈与されました。おめでとうございます。

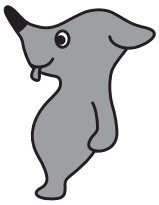
秩父宮章	高橋　幸雄	千葉陸上競技協会参与
高校優秀指導者章	岡田　正幸	千葉県立東金商業高等学校教諭
中学優秀指導者章	渡邊　和也	香取市立小見川中学校教諭
高校優秀選手章	高政　知也	東海大学付属浦安高等学校
中学優秀選手章	鈴木　夢	旭市立第二中学校



この人に聞く

千葉のアスリート紹介

第2回　田野中　輔さん



千葉県 PR マスコットキャラクター　チーバくん
千葉県許諾第 A287-7 号

はじめまして，富士通陸上競技部で 110 mハードルを専門に活動をしておりました田野中輔です。このように紙面に文章を書くなんて…（汗）。とても苦手なので読みにくさは多少勘弁してください。何について書くのがよいのかと考えましたが、なぜ長く競技を続けられたのかを書くことで、これを読まれる若い選手のきっかけになればと思います。

まず、私が陸上競技と出会ったのは 20 年前、中学 2 年生の時でした。最初は長距離を専門にし、棒高跳び、幅跳び、そして高校でハードルと出会いました。最初の記録は 18 秒 00 でした。そこから最終的に13秒55まで更新することになりました。

何故できたのかを簡潔に書きますと、「楽しかった !!」これに尽きます。何が楽しかったのかはその時々で異なりますが、きっと最初は走ることが楽しく、そして速い人を間近に見ていることが楽しかったのです。そのうち真似をし、自分のものとすることに楽しみを覚え、そして勝つこと、記録を出すことが楽しくなっていきました。それにはキツイ練習もいっぱいあります。そんなの試合で負けること、目標を達成できないことに比べたら全然平気でした。

想像してみてください !! インターハイを目標にしていて、思うように結果が出なくて、県大会の決勝で 7 位だったとします。悔しいですよね。そしてあの時もっとこうしておけばよかった…。きっとそんな風に思うことがあると思います。その苦しみ、後悔はずっと将来にわたり続くものです。もっと練習しておけばよかったってその時は思うと思います。でもいざ練習になるとあのメニューはきついなあ、手を抜いちゃおうって考えてしまう。試合で負けて後悔するのと練習のキツさ、どっちを選ぼう？

私なら練習のキツさを選ぶ。その日の練習のキツさなんてその日しかない。寝れば回復する。

勝つ喜びは何物にも代え難い。一回勝てる喜びを知ると、もう一度勝ちたいと思い、頑張る。

この繰り返しが戦う舞台を変えて、県大会、関東大会になり、全国大会に。そしてアジア、世界へと活躍の場が広がっていったのです。

是非、若い選手諸君には楽しんで競技をしてほしい。そのためにも練習から本気で頑張ってほしいと思います。頑張れ、千葉 !!

プロフィール
たのなか　たすく
さつきが丘中→東海大望洋高→筑波大→富士通
世界選手権　大阪大会 , ベルリン大会 110 m H 日本代表
自己ベストは 13 秒 55

発行　千葉陸上競技協会

〒 263-0011　千葉市稲毛区天台町 323
千葉県総合スポーツセンター国際千葉駅伝事務局内
TEL：043-252-7311　FAX：043-252-7314
http://www.jaaf-chiba.jp/